第7講　る・らる／る・れの識別

PART1　る・らる

る・らる

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
「　・　・　」の**未然**形	る	れ	れ	る	るる	るれ	れよ	下二型
それ以外の**未然**形	らる	られ	られ	らる	らるる	らるれ	られよ	下二型

※「　・　・　」の未然形＝「　」段＋る
　それ以外の未然形　　＝「　」段＋らる

問一　次の二つのグループ（Ⅰ群、Ⅱ群）のうち、Ⅰ群からは、二重傍線部が助動詞「る」では**ない**もの、Ⅱ群からは、波線部が助動詞「らる」では**ない**ものを、それぞれア〜エから一つ選べ。

Ⅰ　ア　たまへる　　イ　騒がれむ　　ウ　けしきどらるる　　エ　急がるる

Ⅱ　ア　ながめのみせられて　　イ　仰せられき
　　ウ　心もとながられ　　エ　仰せらるれど

【意味】

① 受身（〜れる・〜られる）
② 可能（〜できる）
③ 自発（自然と〜される）
④ 尊敬（〜なさる・お〜になる）

〈見分け方〉

① 受身＝「〜に」がある。もしくは補える。
② 可能＝る・らる＋「　　　　」
③ 自発＝［「　　　　」動詞 or 「　　　　」動詞］＋る・らる
④ 尊敬＝**主語が貴人**〜＋る・らる

（ら）れ 給ふ（尊敬語）
＝「　　　　」
←
「　　　　」か「　　　　」

第7講　PART1　確認問題

①「仰せられば」の傍線部の活用形として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形　エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

②空欄には助動詞「る」「らる」のどちらかが入る。入る形として最も適当なものを、次の中から選べ。

月の顔のみまぼら［　　］たまふ。

ア　れ　イ　られ　ウ　るる　エ　らるれ

③傍線部が助動詞「る」ではないものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　おぼしやらる
イ　召されて
ウ　隔つる
エ　泣かれぬ

④「思ひ知らるる事も侍り。」の傍線部の文法的意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　尊敬　イ　完了　ウ　自発　エ　使役　オ　可能　カ　過去

⑤「君はいまだ知ろしめされさぶらはずや。」の傍線部の文法的意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　自発　イ　可能　ウ　尊敬　エ　受身

第７講　ＰＡＲＴ１　解答

問一　Ⅰ　ア　Ⅱ　ウ

第7講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

①　助動詞「らる」は「られ・られ・らる・らるる・らるれ・られよ」と活用するので、「らるれ」は已然形。よって、オが正解。

②　四段活用動詞「まぼる」の未然形「まぼら」に接続するので助動詞「る」を入れるべきだが、下に「たまふ」という動詞がつくので連用形の「れ」を入れるのが適当。よって、アが正解。

③　ア・イ・エは動詞の未然形に接続しているので助動詞「る」。ウの「隔つる」は下二段活用動詞「隔つ」の連体形なので、この「る」は助動詞ではなく動詞の一部。よって、ウが正解。

④　助動詞「る」の連体形。上が「思ひ知ら」で心情語なので自発。よって、ウが正解。

⑤　「君」は帝、天皇。貴人が主語で、「知る」の尊敬語「知ろしめす」についているので「れ」は尊敬。「知ろしめされさぶらはずや」は「ご存じではございませんか」と訳せる。よって、ウが正解。

〔解答〕

①　オ　②　ア　③　ウ　④　ウ　⑤　ウ